



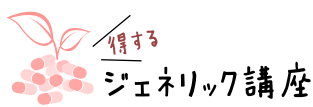
特定健診・保健指導を受けましょう

食べすぎや運動不足などの不健康な生活習慣が積み重なって起こる、メタボリック・シンドローム。特定健診・保健指導は、その予防や早期発見・早期治療のため、毎年行われています。今年も必ず受診しましょう。
※会社で受けている総合健診は特定健診を兼ねています。

特定健診・保健指導を受けると
こんなメリットが!

特定健診を毎年受ければ、健康状態の経年変化が数値で確認できます!

特定保健指導では、プロのサポートが受けられます!
特定保健指導の案内があった際には、必ずお受けください。



ジェネリックにすると、どのくらい安くなるの?

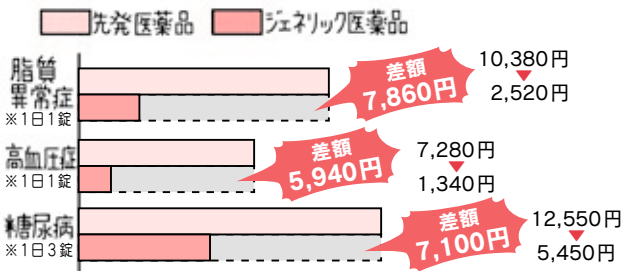
長期の服用なら、ジェネリックがお得。 高血圧症の場合、1年で約5,940円節約できる薬もあります。効き目は先発医薬品とほぼ同じ。ジェネリックは**開発費用が少なくて済むから安い**のです。
平成26年4月からは発売時の価格が見直され、さらにお安くなっています。
※該当するジェネリック医薬品がない場合もあります。



Point 服用期間が長い薬ほど節約効果を実感できます

ジェネリック医薬品の価格は先発医薬品の約2~7割。生活習慣病のように年単位の服用が必要な薬ほど、価格によるメリットが大きくなります。

■薬代の自己負担(3割)の比較(1年間服用した場合)

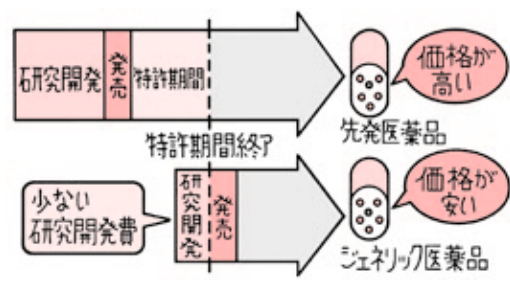


*上記負担額は薬代のみ目安(一例)です。このほかに調剤技術料や薬学管理料などが加算されます。なお、代表的な先発医薬品と、もっとも安いジェネリック医薬品を比較しています。(平成26年4月現在、日本ジェネリック医薬品学会資料より作成)



Point 開発にかかるコストが抑えられ、それが価格に反映されています

通常、医薬品の開発には10~15年の歳月と、数百億円もの投資が必要。それに比べてジェネリック医薬品は、先発医薬品の有効成分を使って製造されるので、開発期間は3~5年と短く、費用も少なく済みます。その分、低価格で販売することができるのです。



健保
インターネットHP
<http://www.mskempo.or.jp>

本誌のバックナンバーも掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

